

第4編 産業

～活力を生むまちづくり～

これまで育んだ「びらとりブランド」のさらなる進化を目指し、農業・林業の豊かな地域資源と観光との相乗効果を活かしながら、食・環境で自立した平取町を確立し、今よりさらに魅力のある地域を創造し「活力を生むまちづくり」を目指します。

政策項目		主要な取組（基本施策）
第1章	農業	農地の維持・保全、農業経営の安定・強化、担い手の確保・育成、食の安全・安心・環境にやさしい農業の推進
第2章	林業	持続可能な森林整備、森林環境譲与税の活用
第3章	商工業	地元商業の育成、商工業団体の支援
第4章	雇用・人材育成	雇用拡大と労働環境の向上、起業支援・企業誘致の推進



対応するSDGs



第1章 農業

現状と課題

- ▽近年、本町の農業は、農業者の高齢化による農地維持のための管理委託の増加、施設野菜の専業等広い農地を必要としない営農形態にシフトしており、米の作付は減少し、畑地化が進み飼料作物（牧草）が増加しています。このため、農地の有効活用と耕作放棄化を防ぐための取組が急務となっています。
- ▽酪農・肉用牛生産をはじめとする畜産分野では、経営者の高齢化や後継者不足による生産者戸数の減少や、進展する国際化への対応や海外悪性伝染病に対する防疫体制の強化などが喫緊の課題となっています。また、資材やエネルギー価格の高騰等による、飼料費をはじめとした生産コストの上昇・高止まり等により、生産基盤と経営基盤をどう維持・強化し国内畜産物を安定的に供給していくかが大きな課題であるため、酪農・畜産経営の継続が可能となるよう、生産者個々の経営体質の強化を目指した取組が必要です。
- ▽耕種分野では、農産物の価格低迷、生産資材・農薬・肥料・燃料の高騰、生産コストの上昇が農業経営を圧迫しています。このことから、低コスト生産技術の導入や栽培技術等の向上を図ることが必要です。
- ▽農業の生産力・競争力強化のため、農作業の効率化に向けた農地の大区画化や、老朽化した水利施設の計画的な保全・更新等の農業生産基盤整備を進める必要があります。
- ▽国際情勢の緊張や国内経済の物価高騰が続く一方、軽種馬市場や競馬産業は活況を呈しています。しかし、軽種馬生産界においては、長年の厳しい経営状況に加え、後継者・人手不足が大きな課題となっています。
- ▽農業者の高齢化と担い手不足を解消するため、新規就農支援、第三者継承に加え、新たな土地利用型農業法人の誘致、スマート農業技術の導入による省力化・省人化・生産性向上が喫緊の課題となっています。
- ▽生産者はこれまで、減農薬・減化学肥料栽培に取り組み、トマト、寒締めホウレン草、キュウリ、南瓜、和牛、黒豚、米など、全国に誇れる農畜産物を生産しています。今後は、道内外でのさらなる知名度向上とブランド化を図り、全国規模での消費拡大を推進する必要があります。

目標



- 農地の適正な管理により耕作放棄地の発生を抑制し、環境保全や景観形成といった農地本来の多面的な機能を最大限に引き出すことで、地域の基盤である農地の維持・保全に努めます。
- 農業経営の安定・強化を図るため、農業関連施設や設備導入にあたり、国の助成制度を活用し、各種補助事業の利用促進を図ります。
- 安全・安心で環境にやさしい農畜産物を生産するため、基本となる土づくりを中心に、農薬や化学肥料の適正な使用・管理などクリーン農業の取組を推進します。
- 農業生産基盤と農村生活環境の整備を計画的に進めることで、農業の持続的発展、農村の振興、食料の安定供給、多面的機能の発揮を図ります。
- 軽種馬生産界の発展継続のため、町内で馬事普及を推進していくとともに、産地支援、ホッカイドウ競馬応援に引き続き取り組みます。
- 農業後継者や新規参入者等に対する就農促進・受入支援制度の充実及び農業法人の誘致を図り、担い手の確保に努めます。特に、円滑な第三者継承を促進するため、相談体制の強化やマッチング支援を継続して実施します。
- 高齢化・人材不足に対応するため、ドローンや自動操舵システム等のスマート農業技術（AI や ICT）の導入を支援し、生産性・品質・作業性の向上を図ります。
- 町が誇るトマトを含めた農畜産物をより多くの消費者に知ってもらうため、多種多様な PR 方

法を検討します。

- 6次産業化や農畜産物の高付加価値化の取組を推進します。

主要な取組

取組No.	基本施策	単位施策名	担当
1	農地の維持・保全	日本型直接支払制度の推進、害獣防止電気柵整備の助成と有害獣侵入防止柵の管理委託、農業振興地域整備計画の見直し	産業課
2	農業経営の安定・強化	農業・農村整備事業の推進、農業施設維持管理の推進、ホッカイドウ競馬・町産馬応援事業、家畜共進会開催、軽種馬1歳馬育成管理品評価開催、畜産クラスター関係事業、スマート農業の推進、畜産振興の推進	産業課
3	担い手の確保・育成	地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の見直し、新規参入者の受入推進、新規就農者用リース農場の整備、農業研修生と受入農家への支援、農業後継者の確保・育成、第三者継承の円滑化に向けた相談・マッチング支援、農業法人の誘致、単身者就農準備農場の整備	産業課
4	食の安全・安心・環境にやさしい農業の推進	土づくりの推進、クリーン農業取組への支援	産業課

めざすべき目標値

指標No.	項目	現状値	R12	R17
1	日本型直接支払制度の取組	3事業	ニーズに合う事業参画	ニーズに合う事業参画
2	エゾシカによる被害額	56,272千円	53,459千円	50,645千円
3	ホッカイドウ競馬応援事業振興対策（びらとりday、馬の絵コンテスト、1歳馬品評会等の実施）	随時	随時	随時
4	新規参入者・農業後継者の確保・育成	夫婦型 4人/年 単身型 0人/年 後継者 0人/年	夫婦型 4人/年 単身型 1人/年 後継者 1人/年	夫婦型 4人/年 単身型 1人/年 後継者 1人/年
5	農業支援センターの土壌診断実施点数	年1,150点	年1,200点	年1,200点
6	町営牧野の管理・運営	公共牧場としての役割を担う	公共牧場としての役割を担う	公共牧場としての役割を担う

関連する個別計画

- 平取町鳥獣被害防止計画
- 平取町農業振興地域整備計画
- 平取町の農業の振興に関する計画（町指定除外計画）
- 平取町酪農肉用牛生産近代化計画
- 平取町農業協議会水田収益力強化ビジョン
- 平取町農業経営基盤強化の促進に関する基本構想
- 平取町地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）

第2章 林業

現状と課題

- ▽平取町の総面積に占める森林（約85%）のうち、約3割が民有林となっています。民有林の人工林においては、主要樹種であるカラマツ林が6割以上を占めています。このカラマツ林は、今後10年間で約6割が標準伐期齢に達するため、再生林の推進が重要な課題となっています。
- ▽町域一帯は、地盤が脆弱で農地等への土砂の流出や林地崩壊などのおそれがあるため、山地災害防止機能の高い森林の整備が求められている状況です。
- ▽森林施業の基盤である林道等の開設や適切な維持管理を進めていく必要があります。
- ▽近年は、景気低迷や長引く木材価格の低迷に加えて、林業従事者の高齢化と減少が重なり、適正な保育管理はもとより林業生産活動は停滞し、森林所有者の森林整備に対する経営意欲の減退により、森林の有する多面的機能の発揮への大きな影響が懸念されています。
- ▽当町は令和4（2022）年に令和32（2050）年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。CO2排出量、再生可能エネルギーの導入量に対する具体的な数値目標の達成に向けて、町全体での取組が求められています。林業の分野においては、令和6（2024）年に策定された「平取町地球温暖化対策実行計画」において、将来ビジョンに紐づくコンセプトとして「資源循環型森林の推進」を掲げている中で、林地残材の活用に向けた収集システムと燃料供給体制の構築、森林環境譲与税の活用、林業就労者支援の3点を施策としており、平取町森林整備計画との連携が求められています。

目標



- 町有林の適切な管理と循環型経営を確立し、事業量の安定化を図るため、年間の皆伐事業量を30haと設定し、関連する施業（地ごしらえ、植付、下刈り、間伐）を計画的に進めていきます。
- 民有林の間伐推進や作業路の整備のために、森林環境譲与税を活用し、安定した森林整備を推進します。
- 林業の生産性向上を図るために、路網（林道、林業専用道、森林作業道）のそれぞれの役割等に応じた適切な整備を推進します。
- 町内森林整備事業等の事業体における新規就業者の確保、通年雇用化促進、就業環境の改善等のために、森林環境譲与税を活用し、働き方の改善を図ります。
- 木質バイオマスの活用を進めるために、地域内の林地残材や未利用材の活用などの原料供給を進め、再生可能エネルギーの創出と地域内経済循環システムの構築を目指します。
- 町内の公共施設等への木材利用や木質化を図ることで、広く木材の良さと利用の意義を伝えます。また、乳幼児等への木製玩具の配布や各イベント等における木製品の活用等によって、木材や木製品との触れあいを通じ、木への親しみや文化の理解を深めるため、森林環境譲与税を活用した木育活動を進めます。
- 山火事等の森林被害を未然に防止するため、森林巡視を強化するとともに、適切な森林の保護と管理を推進します。

主要な取組

取組No.	基本施策	単位施策名	担当
1	持続可能な森林整備	町有林と民有林の整備、路網の整備	産業課
2	森林環境譲与税の活用	私有林の整備、担い手の対策、木材の利用と木育の推進、林道の維持管理、荒廃森林整備	産業課

めざすべき目標値

指標No.	項目	現状値	R12	R17
1	町有林の適正管理と造成	皆伐 30ha/年	皆伐 30ha/年	皆伐 30ha/年
2	民有林活性化推進事業	未整備森林の減少	未整備森林の減少	未整備森林の減少
3	森林整備担い手対策の推進	担い手の働き方改善	担い手の働き方改善	担い手の働き方改善
4	森林環境譲与税活用事業	年間収入額の運用	年間収入額の運用	年間収入額の運用
5	林道の開設	施業効率の良い路網整備	施業効率の良い路網整備	施業効率の良い路網整備
6	林道の改良	既設林道の維持	既設林道の維持	既設林道の維持

関連する個別計画

- 平取町森林整備計画
- 平取町地域材利用推進方針
- 平取町特定間伐等促進計画
- 平取町森林経営計画
- 平取町森林環境譲与税の活用に向けた基本方針
- 平取町地球温暖化対策実行計画

第3章 商工業

現状と課題

▽近年の景気低迷に加え原材料費の高騰や経営者の高齢化、後継者不足など商業を取り巻く環境は依然として厳しい現状が続いています。

▽人口減少・少子高齢化等による市場の縮小という課題に対し、商工会と連携した経営相談や支援体制の充実を通じて、地元業者の経営基盤の強化を支えていくことが喫緊の課題となっています。

▽商工業経営の安定化と地元購買の促進を図るための施策を展開することが課題となっています。特に、空き店舗の活用や店舗の改装支援など、商店街の賑わいづくりにつながる施策が求められています。

▽後継者がいない事業者のための取組が必要です。

▽新たな企業形態（インターネット等）の申請に対応した補助要綱などの再検討が必要です。

▽キャッシュレス決済の導入支援など、デジタル社会に対応した商業振興が求められています。

目標



- 多様化する消費者のニーズや社会情勢の変化に対応できる商工業者の育成と強化を図るため、各融資制度や補助制度の効果的な活用を促進し、支援体制を充実させるとともに、後継者の育成についても商工会と連携し地域産業の発展を推進します。
- 商工業経営の安定化を図るため、商工会の効率的な事務事業を促進できるよう各種施策や組織活動の運営を支援します。店舗改装補助等により地域経済の活性化を図ります。
- 起業家が持続可能な事業展開を図れるよう、関係機関と連携し事業を行います。
- 事業承継への支援をはじめとする各種施策を展開し、町内事業者が安定して経営を継続できる環境を整えます。
- 地域の賑わいを支えてきた商工まつり等の活性化事業を、今後も継続して実施できるよう支援を継続します。
- 地域のデジタル化の機運醸成と運用体制の確保を推進します。

主要な取組

取組No.	基本施策	単位施策名	担当
1	地元商業の育成	中小企業への融資支援、起業支援、後継者の育成・確保、販売促進の推進、店舗改装補助事業、空き店舗活用事業、キャッシュレス決済の導入支援、地域商品券発行事業	観光商工課
2	商工業団体の支援	商工会団体の運営支援、商工まつりへの助成	観光商工課

めざすべき目標値

指標No.	項目	現状値	R12	R17
1	地場産業振興資金の融資・補助	0件/年	1件/年	1件/年
2	特別融資・経営改善貸付件数	4件/年	4件/年	4件/年
3	店舗改修補助件数	1件/年	2件/年	2件/年
4	空き店舗改修・家賃補助件数	0件/年	2件/年	2件/年
5	起業化支援数	2件/年	2件/年	2件/年
6	商品券使用（換金）実績	35,840枚/年	39,000枚/年	39,000枚/年
7	事業承継支援事業	0件/年(新規)	2件/年	2件/年
8	小規模事業者借入金利子補給事業	0件/年(新規)	4件/年	4件/年

関連する個別計画

- 平取町過疎地域持続的発展市町村計画
- 事業維持力強化支援計画

第4章 雇用・人材育成

現状と課題

▽本町の基幹産業である農業や林業、伝統工芸等の分野に加え、建設業や運輸業、医療・福祉など地域社会を支えるあらゆる産業において、担い手不足と高齢化が進行しています。個々の事業所における労働力確保や技術継承を支援するため、スマート技術の導入による省力化・負担軽減の推進や、平取町で働くことの魅力を町内外へ戦略的に発信していくことが求められています。

▽デジタル化の進展により、場所を選ばない働き方が広がっています。町内での起業・創業への支援に加え、テレワーク環境の利活用やサテライトオフィスなど、移住者や若者が自身のスキルを活かして多様な形で働ける環境の検討が必要です。

▽若年層の地元定着を促進するためには、学生時代から地域の産業に触れる機会が重要です。平取高校における「地域みらい留学」の推進や、地域住民との交流機能を備えた「高校生寮」の整備を契機として、地域全体で若者を育むとともに、地元の仕事に対する理解と関心を深めるキャリア教育の充実が課題となっています。

▽大規模な企業誘致については、立地条件や労働力確保の面で課題が多く、容易ではないのが実情です。一方で、町の資源（農林・観光・アイヌ文化）を活かした小・中規模な事業展開や、既存施設（廃校等）の有効活用による新たなビジネスの可能性が求められています。

目標



- 農業・林業・伝統文化をはじめとする地域産業全体の担い手確保に向け、省力化に資する設備導入や技術継承の取組を支援します。また、各産業のやりがいや魅力を広く発信することで、意欲ある人材とのマッチング機会を創出し、誰もが挑戦しやすい就業環境の整備を促進します。
- 町内での起業や副業に挑戦する人材を支援するとともに、テレワーク等の活用による多様な働き方の可能性を検討し、若者や移住者が活躍できる場を広げます。
- 平取高校等と連携したインターンシップや地域学習を支援し、若者が地域の産業を身近に感じる機会を創出します。高校生寮での交流等を通じて地域への愛着を育み、将来的な地元就職や還流（Uターン）の促進を目指します。
- 本町の強みを活かせるターゲット企業との接点を構築し、既存施設の有効活用や小規模な事業拠点の設置など、地域の身の丈に合った形での事業連携や誘致を検討します。

主要な取組

取組No.	基本施策	単位施策名	担当
1	雇用拡大と労働環境の向上	雇用拡大の推進、労働環境向上の支援	観光商工課
2	起業支援・企業誘致の推進	起業支援、企業誘致の推進	観光商工課 まちづくり課

めざすべき目標値

指標No.	項目	現状値	R12	R17
1	企業誘致件数	0件	1件	1件
2	労働講座等支援件数	0件	1件	1件
3	起業化支援数	2件/年	2件/年	2件/年

関連する個別計画

■平取町まち・ひと・しごと創生総合戦略